

渋谷区社会福祉協議会

地域福祉コーディネーター 令和6年度活動報告書



社会福祉法人 渋谷区社会福祉協議会

contents



-
- P3 — 01 発行にあたって
- P4 — 02 地域福祉コーディネーター
の配置の背景と役割
- P8 — 03 渋谷区の地域特性、特徴
- P9 — 04 対応事例
- P13 — 05 事業紹介
- P21 — 資料編
- 01 活動統計
 - 02 地域アセスメントシート
 - 03 住民活動数一覧

01 発行にあたって

日頃より、渋谷区社会福祉協議会ならびに地域福祉コーディネーターの活動にご理解ご協力いただき誠にありがとうございます。

私たち地域福祉コーディネーターは、令和5年度より渋谷区の重層的支援体制整備事業を受託し、本年度で3年目を迎えました。複雑・複合化する困りごとの相談に対応するため、「福祉なんでも相談窓口」を渋谷区役所本庁舎や分室（渋谷区文化総合センター大和田9階結・しぶや）に設けています。また、メールやLINEを活用した相談や、地域の民生児童委員の協力のもと、身近な地域での「巡回型福祉なんでも相談」を毎月実施しています。どこに相談したらいいかわからない困りごとや地域課題を幅広くキャッチアップすべく、日々奮闘しています。

渋谷区では渋谷区地域福祉計画別冊の渋谷区重層的支援体制整備事業実施計画が策定され、地域共生社会の実現に向けた体制づくりが進められています。渋谷区社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画（第3期）の中でも、「重層的支援体制整備事業の実施」と「地域福祉コーディネーター機能の充実」への取組みが大きな柱の一つとなっています。支援が必要であるにも関わらず支援の手が届いていない世帯に対しては、積極的なアウトリーチ活動を行い、既存の制度では対応できない狭間のニーズや地域課題に対しては、地域の社会資源等を活用し、地域社会とのつながり作りに向けた支援を進めています。

本報告書が重層的支援体制整備事業の推進に寄与し、渋谷区の更なる地域福祉の増進の一助となりましたら幸いです。今後も皆様のご指導ご協力のもと、地域福祉コーディネーターは邁進して参ります。引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

（渋谷区社会福祉協議会 地域共生推進課地域総合相談支援係
地域福祉コーディネーター 一同）

渋谷区の地域福祉活動は、どのようなことをやっているのだろうか。渋谷区社協のコミュニティソーシャルワーカーである「地域福祉コーディネーター」兼「生活支援コーディネーター」はどのような仕事をしているのだろうか。その問いの参考になるように、この冊子をお届けします。この冊子は、渋谷区を愛する在住、在勤の方々と共に、地域課題を共有し、そして渋谷区の地域福祉をより良くするために取り組んだ報告書です。

国が推進する社会保障政策の戦後第三の節目である「地域共生社会」は、「高齢者福祉、障害福祉、児童福祉、生活困窮者支援などの制度・分野の枠や、《支える側》《支えられる側》という関係を超えて、人と人、人と社会がつながり、一人一人が生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らせる包摂的な社会」の実現を目指します。地域福祉コーディネーターはそのためのつなぎ役として、「総合相談」、「参加・活動支援」、「地域づくり」等に取り組んでいます。これらの成果が形になるには、一般的に10年単位の時間がかかると言われており、渋谷区では令和5年度（2023）に渋谷区地域福祉計画に基づき、13名の「地域福祉コーディネーター」兼「生活支援コーディネーター」が配置されたので、地域共生社会形成は成長途中です。

しかしながら本冊子より、住民や地域の対象者を中心に問題解決や社会資源開発に努めること、組織ごとの縦割りを横に繋ぎ、分野を超えた連携協働を継続する取り組みは、この冊子からも伝わってくるのではないのでしょうか。これらは、地域活動をする民生委員や町会の方々、ボランティア活動や社会貢献活動をする団体やNPO、企業の方々、渋谷区の保健・福祉・教育分野等とも連携し、みなさまと日々創意工夫しながら取り組んできた成果でもあります。

これからも渋谷区の文化や住民の方々の特性を生かして、渋谷区らしい地域共生社会構築を進めるために、そして地域の方々とのさらなる連携・協働を発展させるため、この冊子をご活用いただくと幸いです。

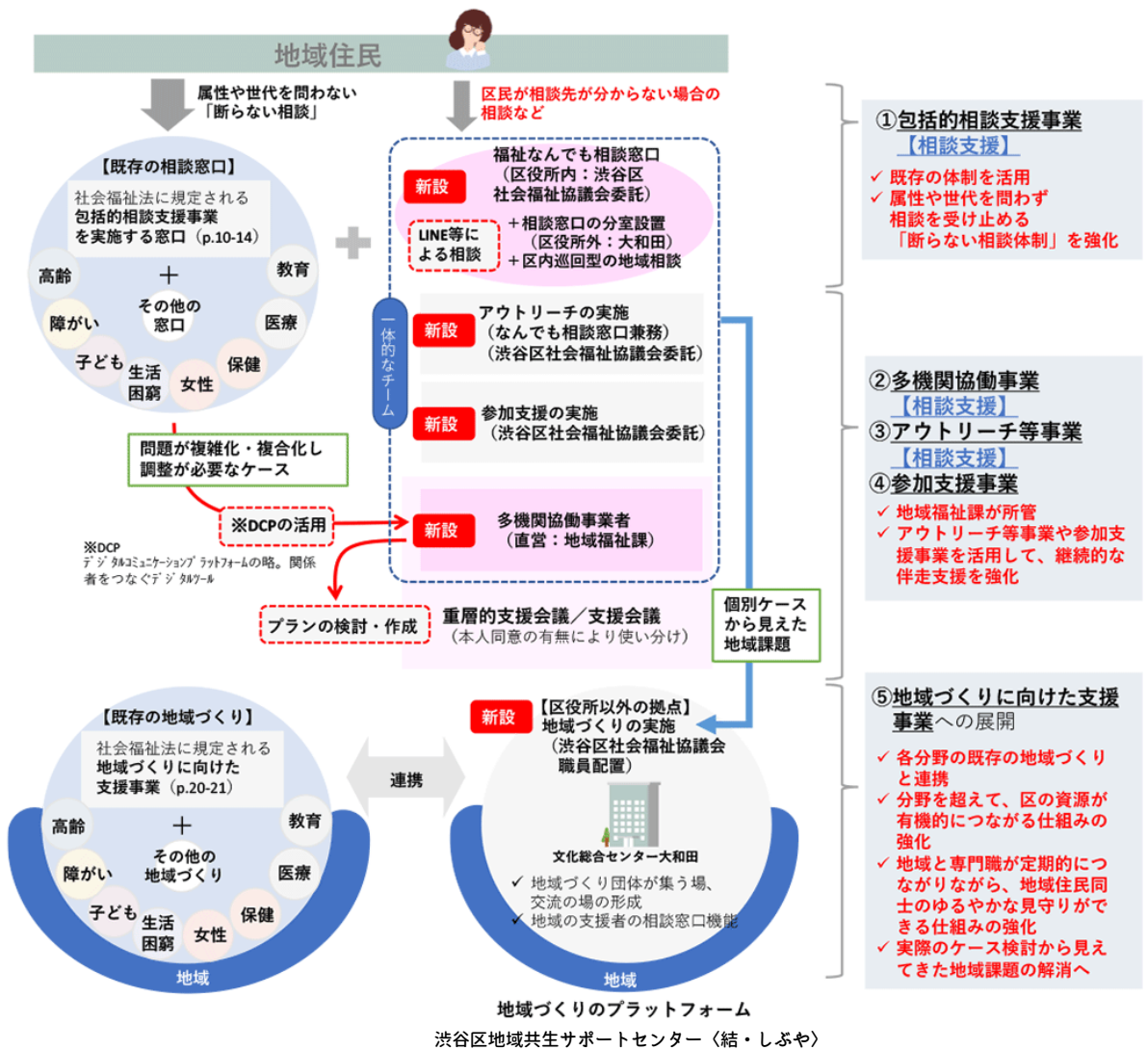
（スーパーバイザー：大正大学 人間学部 社会福祉学科 教授 神山裕美）

02 地域福祉コーディネーターの配置の背景と役割

渋谷区の重層的支援体制整備事業について

渋谷区では、令和3年4月の社会福祉法改正を受けて令和5年度から「重層的支援体制整備事業」に取り組んでいます。

重層的支援体制整備事業とは、子ども・障がい・高齢・生活困窮などの分野別の支援体制では対応しきれない複雑化・複合化した課題に対して、分野を横断し一体的となって取り組むための包括的な支援体制を整備する事業です。重層的支援体制整備事業の各事業（①包括的相談支援事業、②多機関協働事業、③アウトリーチ等事業、④参加支援事業、⑤地域づくりに向けた支援事業）のうち、①③④⑤を渋谷区から委託を受け渋谷区社会福祉協議会が担っています。



(出典 渋谷区重層的支援体制整備事業実施計画より一部加工)

①包括的相談支援事業

高齢、介護、障がい者、子ども・子育て、生活困窮の既存の相談支援機関が、属性や世代を問わず包括的に相談を受け止める体制を整えます。

②多機関協働事業

単独の支援機関では対応が難しい、複雑化・複合化した課題を抱えるケースについて、重層的支援会議及び支援会議において、関係機関の役割分担や支援の方向性を定めます。また、会議で合意された支援プランに基づき、適切な相談支援、アウトリーチ、参加支援を行います。

③アウトリーチ等事業

課題を抱えながらも支援が届いていない人に支援を届けます。

④参加支援事業

個別性の高いニーズと社会資源をつなぎます。

⑤地域づくりに向けた支援事業

全ての地域住民が利用できる地域交流の場や居場所づくりを進めるとともに、社会資源と人のコーディネートを行います。

地域福祉コーディネーターの役割

重層的支援体制整備事業の「分野を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施していくために、地域福祉コーディネーターは個別の相談と地域の活動とをつなぎ、地域の方々が支えあう仕組みを作り、誰一人取りこぼさない地域づくりを目指していきます。

個別支援

その人らしく暮らせるように一人ひとりの生活や想いに寄り添い支援します

地域支援

住みやすい街づくり
地域の関係機関とネットワークを組み支援します

きづく

地域の中で社会や支援につながっていない人々や、地域が抱える課題やニーズを把握し、家庭訪問などにより様々な相談に対応し、福祉課題の早期発見に努めます。

地域に寄り添う支援

つくる

既存の地域活動や地域づくり事業の強みを活かしながら、地域に役立つ新たな事業を住民・行政・専門家などと連携してつくります。

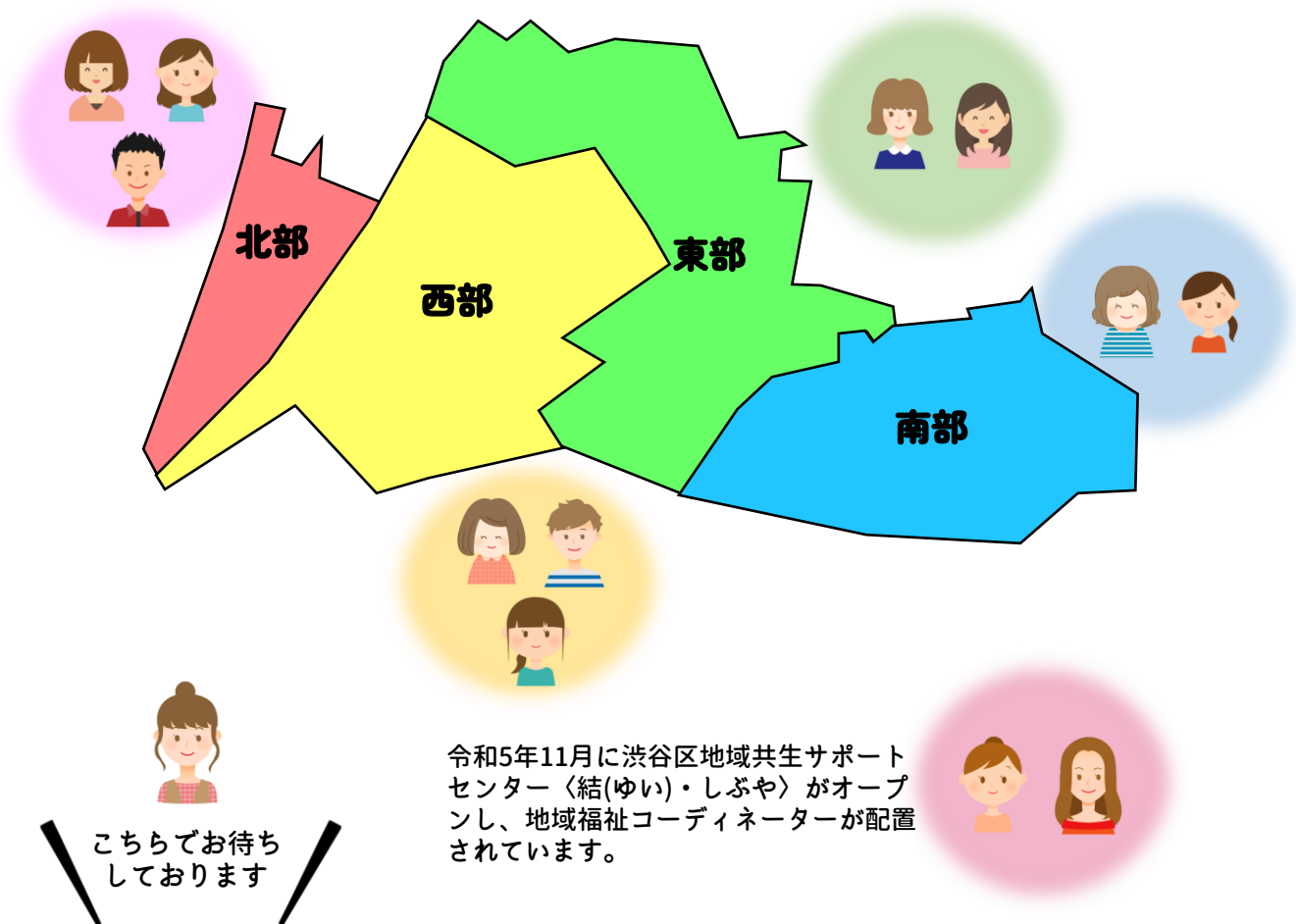
つなぐ

地域の中で支援を必要とする人々に、公的サービスやボランティア、地域活動などのサービスに適切につなぎ、早期解決に向けたお手伝いをします。

地域福祉コーディネーター体制について

担当エリアをもつ12名の地域福祉コーディネーター兼生活支援コーディネーター（以下、生活支援コーディネーターを兼務する場合も「地域福祉コーディネーター」と称す）は、区内を地域包括支援ケアの日常生活圏域（※1）に合わせた「北部」「西部」「東部」「南部」の4つのエリアに分けて、各エリアに3名ずつを配置しています。（1名は統括）

13名は、区役所2階の渋谷区社会福祉協議会地域共生推進課地域総合相談支援係に席をもちますが、日中は地域の会合などに出向いたり、家庭訪問やアウトリーチなどの個別支援をしています。また、区役所2階での「福祉なんでも相談窓口」の対応のほか、渋谷区文化総合センター大和田9階に令和5年11月に開設した地域共生サポートセンター〈結・しぶや〉の「分室」での相談にも対応しています。



地域福祉コーディネーターがいる場所の記載

- ① 渋谷区役所2階（東京都渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所2階）
- ② 渋谷区地域共生サポートセンター〈結(ゆい)・しぶや〉
（東京都渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田9階）

※その他地域を回っています

※1 日常生活圏域とは

渋谷区では、住民の身近な地域に根差した高齢者保健福祉施策及び介護保険事業を推進・展開していくために、地理的条件、人口、交通事情その他社会的条件、さらに介護給付等対象サービスを提供するための施設の整備の状況を総合的に勘案して、日常生活圏域を定めています。

地域福祉コーディネーターの一日

8:30



朝礼から始まります

9:30



来所相談：
 ・地域での居場所を知りたい
 ・参加できる活動があるか知りたい
 ・電話での相談も受け付けています

13:30



関係機関との会議

12:00



休憩時間

10:30



地域活動（サロン）に参加

14:30



お宅訪問：
 ・子どもの学習支援団体を紹介

16:00



事務作業（記録入力等）

地域福祉コーディネーターの一週間(例)

地域福祉コーディネーターは地域に出向いて様々な活動をしています



フードドライブ回収

ご協力いただいている店舗を周り、ご寄附いただいた食品を回収しています



サロン・子どもテーブルの訪問

ふれあいいきいきサロンや子どもテーブル団体の活動を見学し、地域情報の把握をしています。



巡回型福祉なんでも相談の実施

地域の様々な場所に出向き、出張相談会を実施しています



アウトリーチ訪問

支援が届かない方へアプローチするため、訪問したり、福祉なんでも相談のチラシをポスト投函したりして相談のきっかけ作りをしています。



協議体に参加

生活支援コーディネーターを兼ねており、協議体に参加するのも活動の一つです。



地域のお祭りに参加

その地域の伝統文化に触れ、地域理解を深める他、住民の方と一緒に汗をかくことで関係性を深めています。



※「協議体」についてはP24をご参照ください

03 渋谷区の地域特性、特徴

渋谷区内の現状

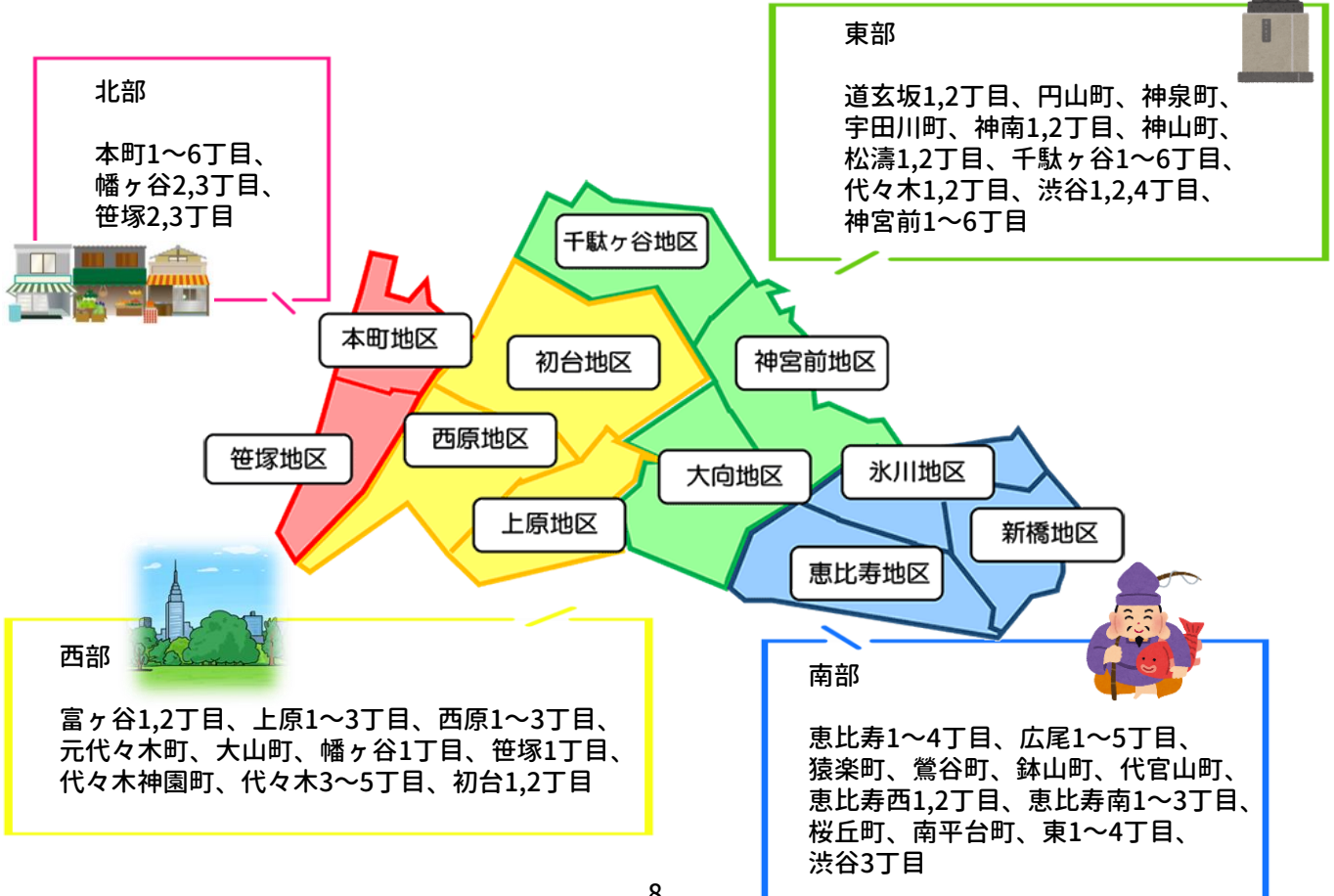
面積	15.11 km ²	高齢化率	18.69%
総人口	230,609人	民生児童委員数	186人（定員198人）
総世帯数	142,443世帯	要支援者認定率	1.470%
高齢者人口	43,121人	要介護認定率	2.714%
要支援認定者数	3,391人		
要介護認定者数	6,261人		
町会	105カ所		

令和6年1月1日現在

※令和6年版渋谷区勢概要参照

地区割りと担当

区内の地域特性として、「北部」「西部」は庶民的な町並みが広がる緑豊かな地域で、「東部」「南部」は大学もあり、若者も多くおしゃれな街並みが広がる地域となっています。



04 対応事例

個別支援

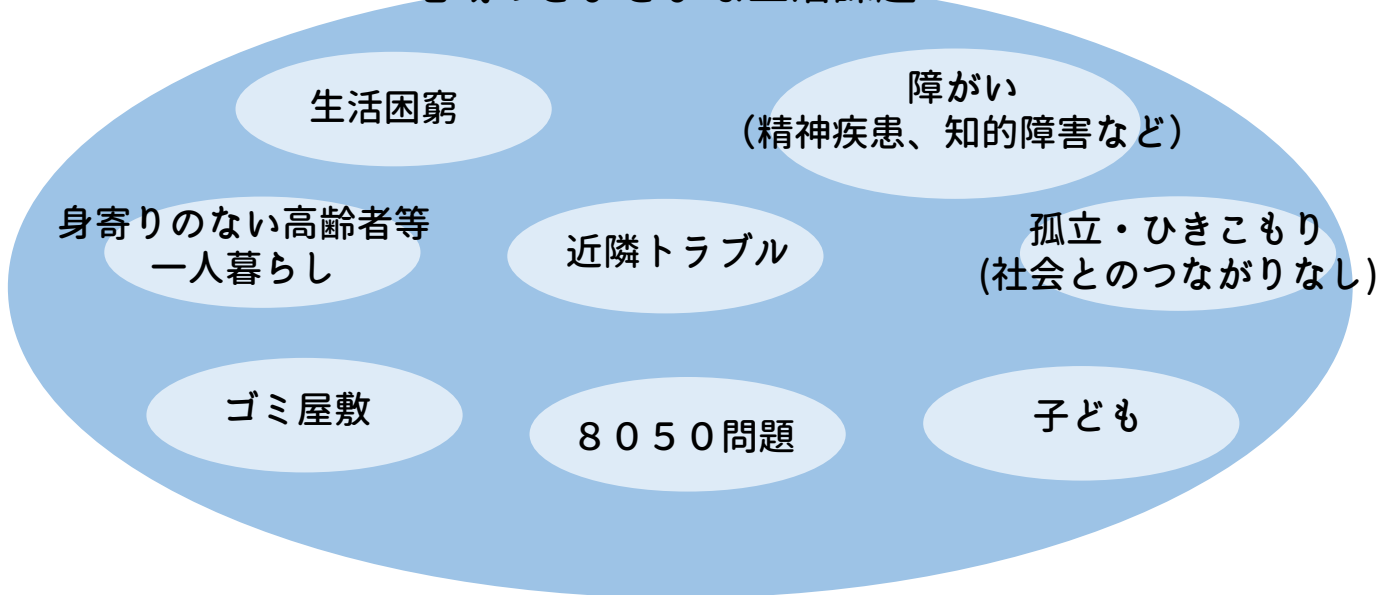
地域には様々な生活課題があり、地域福祉コーディネーターには複数の生活課題が重なった相談が数多く寄せられています。地域福祉コーディネーターが相談を受け、地域住民や関係機関とともに考え、協力して支援を行った一例を紹介します。

地域福祉コーディネーターに寄せられるさまざまな相談

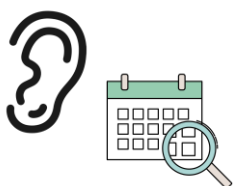
- 家の中が片付けられない
- 滞納があり生活が厳しい
- 家族のことで悩みがある
- 利用できるサービスを知りたい
- 地域で孤立している
- 地域での居場所がない
- など



地域のさまざまな生活課題



地域福祉コーディネーターの主な対応



情報収集



関係性構築



つなぐ
必要なサービスや
資源とつなぐ



資源開発

1

世帯の状況



80代

- ・介護サービスは、まだ必要ないかな
- ・自分たちだけで生活出来ている
- ・家の中は散らかっているから入ってほしくない



50代

- ・家に引きこもりがち
- ・以前は地域活動支援センターに通っていた
- ・買い物にも自分で行っているから困っていることは無い

キーワード

8050問題、親なき後の生活、地域での見守り

ケース概要

80代の父と50代息子の二人暮らし
他区で暮らしている親族より相談があり地域福祉コーディネーターへつながった。

父は認知症の疑いがあるが、定期的な通院をしておらず、出かけた先で帰り道が分からなくなることがあった。また間違えて近隣のチャイムを鳴らす等があり近隣トラブルにもなっていた。

息子は軽度の知的障害、精神障害があり、自分で判断して行動することが苦手だった。

2

アウトリーチ訪問

アウトリーチ訪問すると、書類の書き方が分からない等の困りごとが出てきた。



父、息子と関係性構築

介護保険申請書類の記入を手伝う。その後も月1回程度、訪問を続け、体調や困りごとの確認等を行う。最初は家の中に入ることは拒否され、玄関外で話していたが、徐々に入れてくれるようになった。

3

支援会議を開催

※重層的支援体制整備事業の多機関協働事業



メンバー

関係所管、関係機関（包括、保健相談所、基幹相談支援センター等）

課題の整理

父

定期的な通院をし、適切な医療を受ける。

息子

困った時にSOSを出せるようになる。
自立に向けた支援につなげていく。

世帯

家の片付け・親なき後の生活

地域福祉コーディネーターの対応



父

- ・包括、保健相談所とつなげる
- ・介護認定を受けるためのサポート
- ・毎月訪問し話を伺う



息子

- ・CSWの顔を覚えてもらい、困った時に頼ってもらえるよう関係性作りを行う



世帯

- ・部屋の片づけの手伝い

現在

父

- ・介護認定を受け、通院も再開したが病気のため死去

息子

- ・父が亡くなった後、一人で暮らしている
- ・生活保護の申請を行い、家計改善も支援を受けている

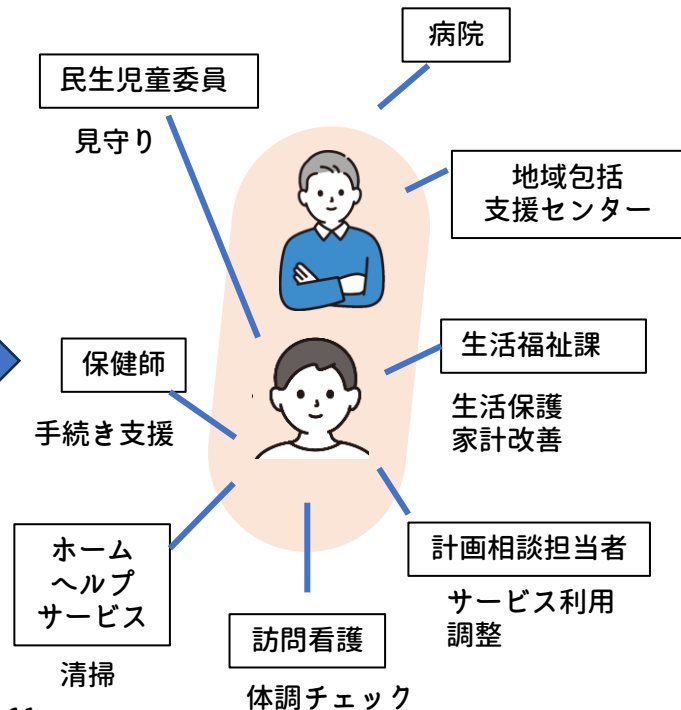
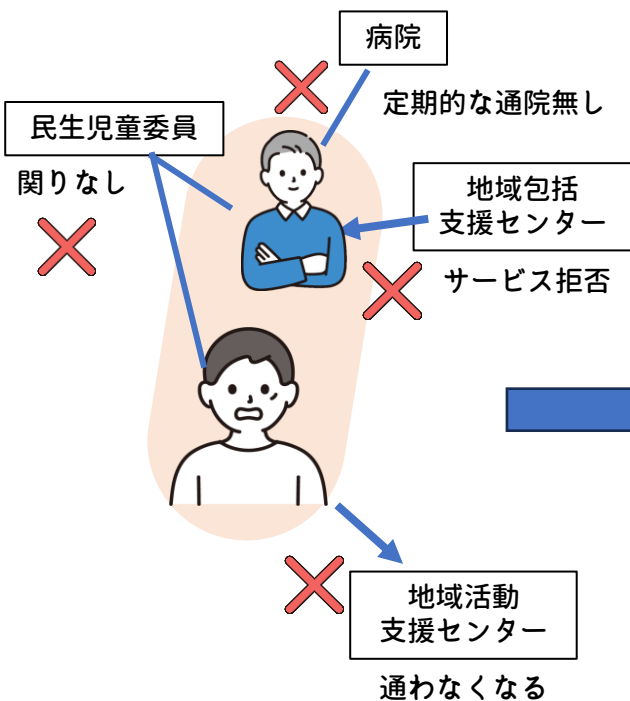
世帯

- ・訪問看護、ホームヘルプサービスを利用し、民生児童委員もゆるやかな見守りを継続中

地域福祉コーディネーターが関わる以前と後の地域資源の変化

相談当初

現在



事例 金魚から始まった小学校応援団活動

小学校の地域学校協働活動推進員より相談



内容

中幡小学校で6匹の金魚を水槽で飼っているが、それは副校長がひとりで世話をしている。地域のチカラを借りて、一緒にお世話してくれるような仕組みを作れないか。「学校のお助け隊」のような地域住民から構成されたチームを作って住民に協力してもらいたい

こうした話を受け地域福祉コーディネーターがボランティアセンター職員、町会長に声をかけ学校に話を伺った



話し合い

学校長、地域学校協働活動推進員、町会長、ボランティアセンター職員とで打合せ



学校長より「2年目だが、子どもも巻き込んだ取組にしたいという思いもある。学校という場所を使って大人や地域の人でも学べる場になってほしい。地域の人に関わることで、子どもの学びも豊かになる。学校の取組に地域が関わってくれることで、教師など誰かが異動しても持続可能になるのではないか。PTAや町会なども連携したい。そのために、地域の協力者を募り、何とか来年頃には形にできないかと思っている。

チラシ作成



住民への呼びかけ

地域住民の方が数名声を上げてくれた

小学校応援団が立ち上がり活動が始まった



継続支援件数 (令和6年度実績)

地域支援活動(既存活動の支援)
137件

主な対応内容

- ・地域でのイベント開催に向けた支援
- ・助成金申請に関する支援
- ・活動継続のための相談
- ・活動拡充、活動周知、活動に対する助言等

地域づくりに向けた業務(新たな活動創出)
623件

主な対応内容

- ・地域で孤立防止のための居場所づくり
- ・団体連携への支援
- ・支援団体のネットワーク構築
- ・地域での新たな取り組みの創出



1. 福祉なんでも相談窓口

相談先が分からない地域住民に対する分かりやすい相談窓口を実施しています。

	福祉なんでも相談窓口	福祉なんでも相談窓口 分室	巡回型 福祉なんでも相談窓口
場所	本庁舎2階	文化総合センター大和田9階 渋谷区地域共生サポートセンター 結・しぶや内	区内各所 (公共施設や都営住宅集会所等)
時間	月～金曜 8時30分～17時	火～土曜 10時～19時	平日13時～15時
相談員	地域福祉コーディネーター	地域福祉コーディネーター	地域福祉コーディネーター 民生児童委員

受けた相談を各部門につなぐ調整機能や既存の相談窓口から、対応先が明確でない相談の引継ぎ、区内巡回型の地域相談を行い、地域住民からの相談を広く受け付けます。

福祉なんでも相談窓口について

お気軽に
ご相談ください。

① 窓口相談(来所・電話・メール) ② LINE相談受付

③ 巡回型福祉なんでも相談

庁舎 03 - 6452 - 5072
受付時間: 8:30 - 17:00 土日・祝日・年末年始はお休み

分室 090 - 7183 - 6243
受付時間: 10:00 - 19:00 日・月・祝・年末年始はお休み

令和6年度 実績
相談件数延べ: 1,861件

内訳 (窓口種別)
本庁舎: 1,195件 巡回型: 62件 分室: 584件 その他: 20件

※この他に訪問を496件行いました

2. フードパントリー

地域福祉コーディネーターが相談をお受けした、ひとり親、失業、生活困窮等の理由で食事・生活にお困りの方に食品を配付しています。



詳しく相談したい

一時的に食べる物がなく、緊急で困っている

- ・相談者が必要な支援につながるまでの支援の位置付け
- ・相談者と関係性を築き、適切な相談機関へつなぐ
- ・相談者の状況にあわせて、伴走支援は続きます

令和6年度 実績

配付実世帯数 82世帯
配付回数 291回



3. フードドライブ

ご家庭で不要になった食品を集める、フードドライブを以下窓口で行っています。
こちらで集まった食品はフードパントリー事業で活用しています。

1. 常設5か所

- ①渋谷区役所 2階 22番窓口
月～金曜 8:30～17:00 (土日・祝日・年末年始を除く)
 - ②渋谷区文化総合センター大和田9階
渋谷区地域共生サポートセンター〈結(ゆい)・しぶや〉
火～土曜 10:00～18:00 (日・月・祝日・年末年始を除く)
 - ③ファミリーマート渋谷消防署南店
24時間年中無休
 - ④ファミリーマートスバル桜丘246店
24時間年中無休
 - ⑤マルエツ代々木上原店
月～日曜、9:00～23:00 (年末年始は営業時間を変更)
- ※フードドライブ活動として店内に
食品寄付ボックスを常設し、
温かい気持ちのこもった食品をお客さまから
お預かりしています。

2. イベント型6か所

- イベント等に合わせて臨時に受付をしました
- ・区内で開催された映画祭
 - ・バスケットボールの試合会場
 - ・百貨店の入口等



4. おひさま ～生きづらさを抱えた方たちのための居場所～

ひきこもりがちな方への支援として、参加支援事業を実施しています。
参加支援事業として、社会とのつながりを作る支援を地域福祉コーディネーターが担っておりますが、なかでも既存の支援にあてはまらない個性の高いニーズがある人を「おひさま」で支援しています。
参加支援事業のため、申込みが必要です。

内容：ここではみなさんが好きな時間を過ごせます。本を読む、絵を描く、お話をする、何もせずにぼんやり過ごすこともできる場所です。
日時：毎週水曜日 14:00～16:00
場所：渋谷区文化総合センター大和田9階
渋谷区地域共生サポートセンター〈結(ゆい)・しぶや〉



プログラムについて

一人一人にあった内容を考えます。
得意、不得意は問いません。

令和6年度 実績
実施回数：50回

日常生活練習



おしゃべりやお茶を飲んだりなど
何もしなくてもいい時間

5. シブヤロコミュ

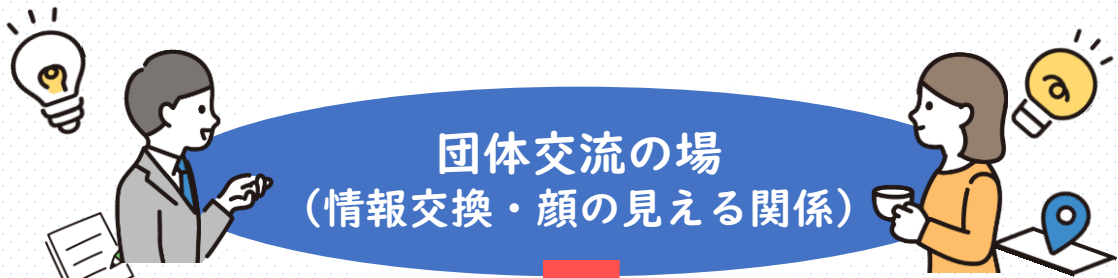
「シブヤロコミュ」では、さまざまな地域課題を解決するための検討の場、仕組み作りをする場として団体の方々と連携・協力し、「だれひとり取り残さない社会の実現」を目指しています。私たち地域福祉コーディネーターが相談支援をしている中で、複雑化・複合化した課題や既存の制度ではつなぎ先が見つからず、解決できない課題について話し合いを行いました。地域で活動するNPO団体等のみなさんと協働して、個別相談事例から見える制度の狭間の課題解決に向け、新たな地域の資源の創出を目指し、取り組んでいます。

実績

課題解決シブヤロコミュ 年2回実施
参加団体数 17団体 参加人数 18人 (令和6年度実績)

令和4年8月 発足

シブヤ × ローカル(地域) × コミュニティ(共同体・地域社会)



目的を
「団体交流の場」から
「地域課題を解決すること」
へ変更



課題解決型シブヤロコミュへ

令和5年12月～

新たな取り組み
地域資源の創出

個別支援

地域福祉コーディネーター

地域課題の解決・
検討の場



複雑・複合化
したケースへの
支援

地域課題の共有



(1) シブヤロコミュで生まれたプロジェクトについて

令和5年度からの継続プロジェクト

衣類支援プロジェクト

人と物資をつなぐネットワークづくり



登下校支援プロジェクト

子どもたちのサポーターを増やす



ひきこもり支援プロジェクト

ひきこもり当事者と地域参加の場をつなぐ



Afterロコミュ結プロジェクト

孤立支援のためのネットワークづくり



令和6年度からの新規プロジェクト

出すとクリーンプロジェクト（ごみ問題に関するプロジェクト）

NEW



きっかけ
地域福祉コーディネーターが相談を受ける中でごみや片づけに関する問題や社会資源の少なさを感じ、仕組みづくりの必要性を感じたことから地域課題としてシブヤロコミュに取り上げて話し合いを実施しました。

令和6年12月に発足
プロジェクト名は「ごみを出す」と「ダスト(Dust)」を掛け、ごみを出して綺麗にしていこうという思いが込められています。個別ケースのごみ出しの課題について、仕組みづくりを進めています。

(2) 各プロジェクトの動き ～個別の相談から地域の支援へ～

衣類支援プロジェクト

地域福祉コーディネーターが実施する衣類パントリーに集まった衣類を整理

団体との情報交換
・富ヶ谷地域
・幡ヶ谷地域
で実施している団体見学

情報収集中
古着回収をしている団体等やバザーの情報募集のチラシを作成中

人と物資をつなぐ
ネットワークづくり 情報集約



メンバー

NPO法人、地域団体、社会福祉法人、サービス公社、児童養護施設、子どもの支援団体、民生児童委員

目指しているもの

- ・衣類に困っているという相談者に、衣類の支援をきっかけに、地域でつながりを持てるような地域資源になる
- ・すでに衣類支援の活動をしている団体について情報収集を行い、資源一覧を作る
- ・団体同士で情報交換できるようなネットワークづくり

ひきこもり支援プロジェクト

ひきこもり当事者の家族とつながっている団体や人が地域にいて、団体の皆さんからどうやって支援したらよいか知りたいという話が出た。そのため地域の支援者向けの勉強会を開催しても良いのではないかと考え、勉強会を計画した。

令和7年2月に支援団体向けの勉強会を実施

講師：NPO法人CNSネットワーク協議会
ひきこもりの現状、関わり方の注意について分かりやすく話していただいた。参加者からのアンケートを実施し次回以降の勉強会のテーマを参考とする。今後も団体と協働し理解を深め、定期的に勉強会の実施をしたいと考えている。

家族に対するアプローチ

地域の社会資源の情報提供

ひきこもり当事者と
地域参加の場をつなぐ



メンバー

ひきこもり支援団体、傾聴ボランティアグループ、児童養護施設、サービス公社、こどもテーブル団体



目指しているもの

地域でのひきこもりについての理解者、サポーターを増やしていく。

- ・理解者、支援者の育成
- ・地域の社会資源のマップやリスト作り
【受け入れ先（居場所）】
- ・家族とのつながりを作る。

登下校支援プロジェクト

既存の制度があることが分かり、実際に行っている人や、教育センターに現状を伺い、「家庭と子どもの支援員」制度や、フォロースタッフという制度があることが分かった。

登下校支援プロジェクトの開催

参加団体、地域福祉コーディネーターで情報整理を行った。参加者から若者支援団体を紹介してもらった。

若者支援団体に区内の現状を伺った。その内容をメンバーに情報共有し、プロジェクトの今後の方向性について検討した。

子どもたちのサポーターを増やしたい

地域での見守り体制の強化

勉強会を企画しよう！



メンバー

こどもテーブル団体、ボランティアセンター、移動支援事業所、フリースクール、子どもの支援団体



出すとクリーンプロジェクト

プロジェクト名をメンバー内で検討し
【出すとクリーンプロジェクト】に決定



地域でゴミの問題を解決したい

協力者や団体のネットワークを作りたい



メンバー

生活困窮の相談窓口、コミュニティカフェのメンバー、居宅介護支援事業所

課題の整理、現状の制度の把握を行い、個別の自宅訪問回収の利用ができないケースや決まった時間にゴミ出しをすることが難しいケースがあることが分かった。



まずは、マンション等で24時間いつでもゴミを出せる設備が整っているが、ゴミ出しが出来ず困っている人の支援をやってみようということになった。

メンバー募集のチラシを作成しました！



目指しているもの

- ・ゴミ出しができないケースの他、物が多い自宅の片付け、ゴミの回収など処分にかかる費用負担が難しい家庭等、制度の狭間の課題解決の仕組みづくりを目指していく。
- ・継続的に関わり続けていただける協力者・協力団体のネットワークを作っていく。

Afterロコミュ結プロジェクト

情報交換をしながら、一緒にイベント開催ができないか模索



活動の情報共有仲間を募りたい！チラシを作成



区内の相談支援教室を見学

※学校に通うことができない児童・生徒の学校復帰を支援する教室



目指しているもの

- ・第三の居場所（フリースクールなど日中の居場所）
- ・放課後の居場所
- ・平日、お昼ご飯が食べられる場所
- ・その他小中高生が居られる場所
- ・登下校支援
- ・相談場所

等の情報の一覧を作り情報発信をしたい

不登校 地域の孤立 フリースクールなどのテーマの情報共有

支援者向けの勉強会を企画・主催



メンバー

フリースクール、通信制高校、こどもテーブル団体、民生児童委員

6. 渋谷区地域共生サポートセンター〈結（ゆい）・しぶや〉



※結・しぶやは、渋谷区が設置し、渋谷区社会福祉協議会が運営しています。

渋谷区地域共生サポートセンター

結・しぶや

施設概要

開館日時：火～土曜日（日、月、祝日、年末年始を除く）10～19時

常駐：地域福祉コーディネーター（2名）、コミュニティマネージャー（1名）

利用団体：渋谷区の実施する重層的支援体制整備事業に協力いただける非営利団体

既に地域づくり活動を行っている団体や、地域づくり活動に関心のある住民、地域の居場所創設の可能性のある団体等が、互いの関心や活動を有機的につなげる場、互いに相談・協議・学びができる場としてのプラットフォームづくりに取り組み、伴走支援、参加支援事業等につなげます。プラットフォームづくりを進めることで、行政や専門職だけでなく、地域と協働した支援体制の構築を目指します。これにより、地域づくり団体が集う場、交流できる場を形成し、地域の支援者からの相談を受ける窓口の機能も担うことに加え、地域づくり団体の集うイベント等を運営し、団体交流の活性化に努めます。



結・しぶやには、団体支援を専門に行う「コミュニティマネージャー」を配置しています。コミュニティマネージャーと個別支援・地域づくりを行う地域福祉コーディネーターが常駐し、団体活動の支援・連携を行います。団体同士が交流・連携することで、新たな取り組みや複雑・複合化した課題を抱える地域住民への伴走体制を強化していきます。

登録団体：102団体

ひきこもり支援・多胎家庭への支援、不登校児の親の会、若年性認知症をサポートしている団体等さまざまな分野、世代の団体が登録しています。

団体支援

コミュニティマネージャーと協働して団体支援を行います。

■団体チラシ作成

支援教室×フリースクール～Canvaを使ったPR動画作成ワークショップ～

■学生の子カを活用し、学生も生活力向上！

家事支援の団体×大学生

（家事支援の団体でのボランティアに大学生を紹介し、活動に参加してもらった。）

地域づくり

各地域の区民やさまざまな団体に、地域に関心を持って、ニーズに気付くように種まき活動を実施

■居場所の立上げ支援

ボランティアセンターと協働し、傾聴講座受講生に、困りごとを抱える人への支援の担い手として活動できるように、「どなたでも参加できる居場所」の立上げに向けたサポートを実施

団体連携

新たな地域資源の創出、活動の拡がりをめざし、“聞いて、知って、つながる”を合言葉に団体同士がつながるイベント開催

■結・しぶや開設一周年

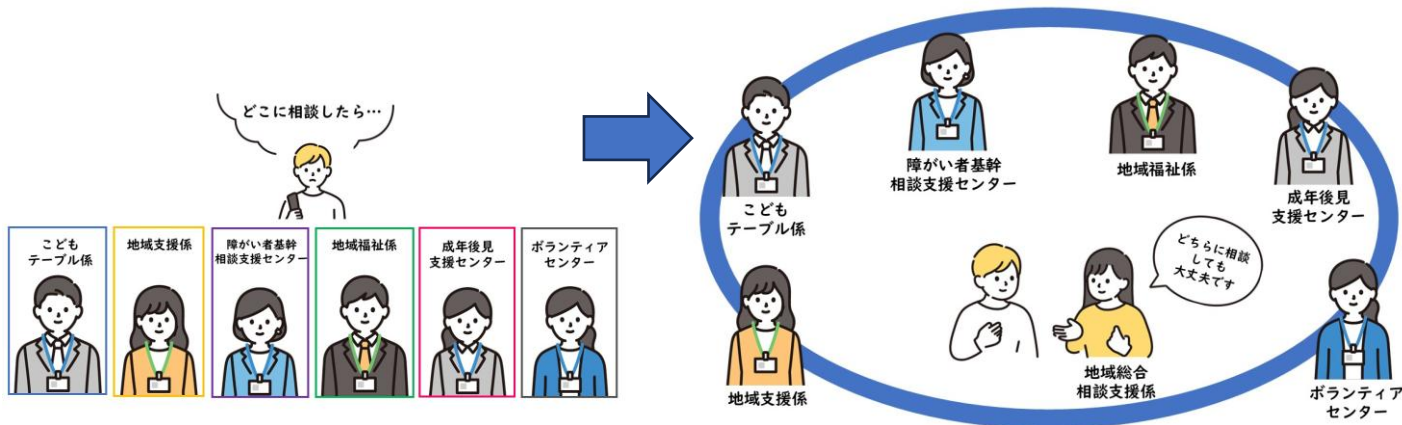
～スペシャル・オープンデー～開催

116名 44地域団体のほか企業・学校・個人などが参加



7. 社協内の横のつながりネットワーク

今までは社協内それぞれの部署で相談を受け、必要に応じ他部署と連携をしてきましたが、地域総合相談支援係が出来たのをきっかけに、より横のつながりを意識して支援を行っています。



連携の具体例



こどもテーブル係との連携

- ・こどもテーブルに来ている参加者が福祉なんでも相談窓口につながった
- ・こどもテーブル団体からの相談がありフードドライブ協力店舗につながった

地域支援係との連携

- ・ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ時の相談同席
- ・やすらぎサービス(住民参加型在宅福祉サービス)での訪問に同席しその後、相談者が保健相談所等福祉サービスにつながった

障がい者基幹相談支援センターとの連携

- ・高次脳機能障害者の面接に同席してもらうことで、本人が安心して話すことが出来た

地域福祉係との連携

- ・貸付相談から福祉なんでも相談窓口を案内。その後、フードパントリーにつながった

成年後見支援センターとの連携

- ・福祉なんでも相談窓口で関わっていた方をつないだ
- ・エンディングノートの説明会時に同席し、相談につながった

ボランティアセンターとの連携

- ・地域活動中に出会った人をボランティア登録につなげた
- ・ボランティアの依頼相談より福祉なんでも相談窓口につながった

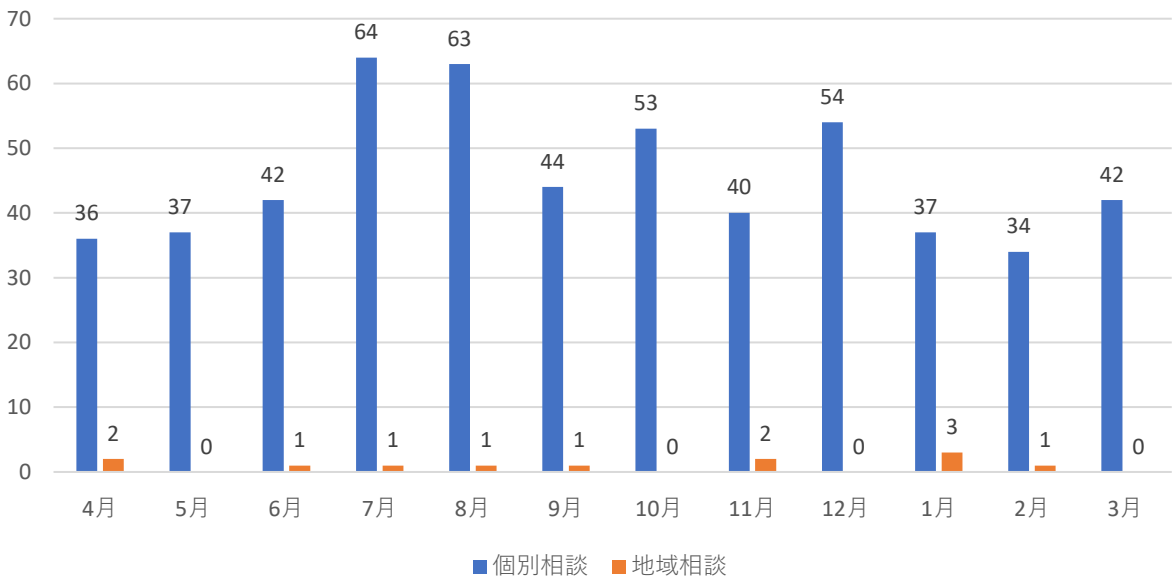
資料編

- 01 活動統計
- 02 地域アセスメントシート
- 03 住民活動数一覧



01 活動統計

相談分類（新規）

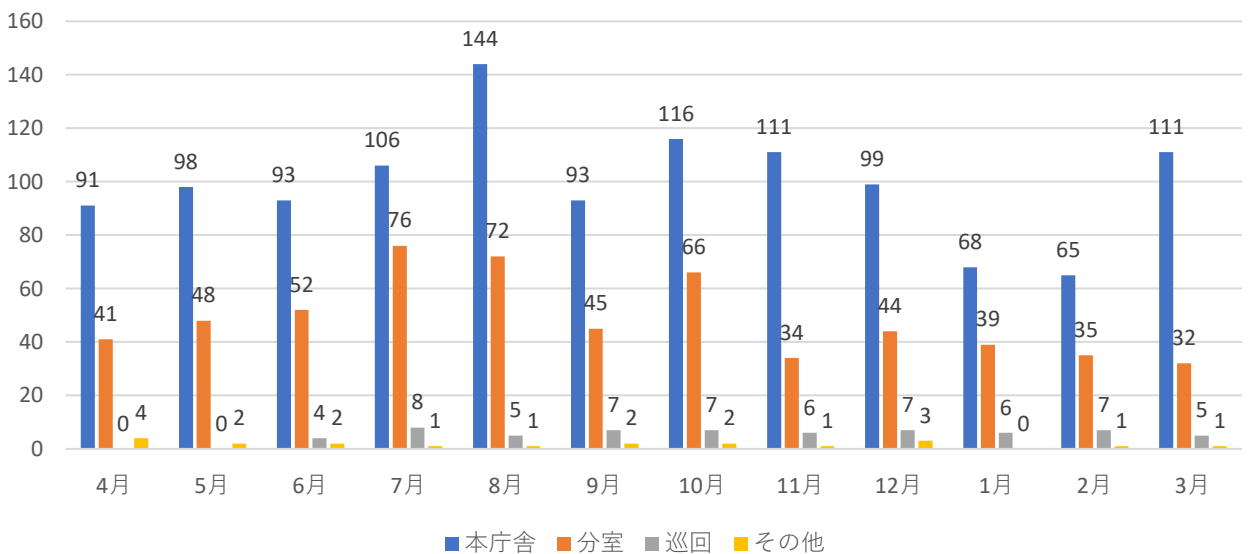


前年度に比べ、個別相談件数は増加しましたが、地域相談は減りました。今後、新たに地域活動を行いたいという方の発掘に取り組んでいきたいと思えます。

令和6年	個別相談	地域相談	合計
合計	546	12	558

※個別相談は実世帯数、地域相談は実人数を計上

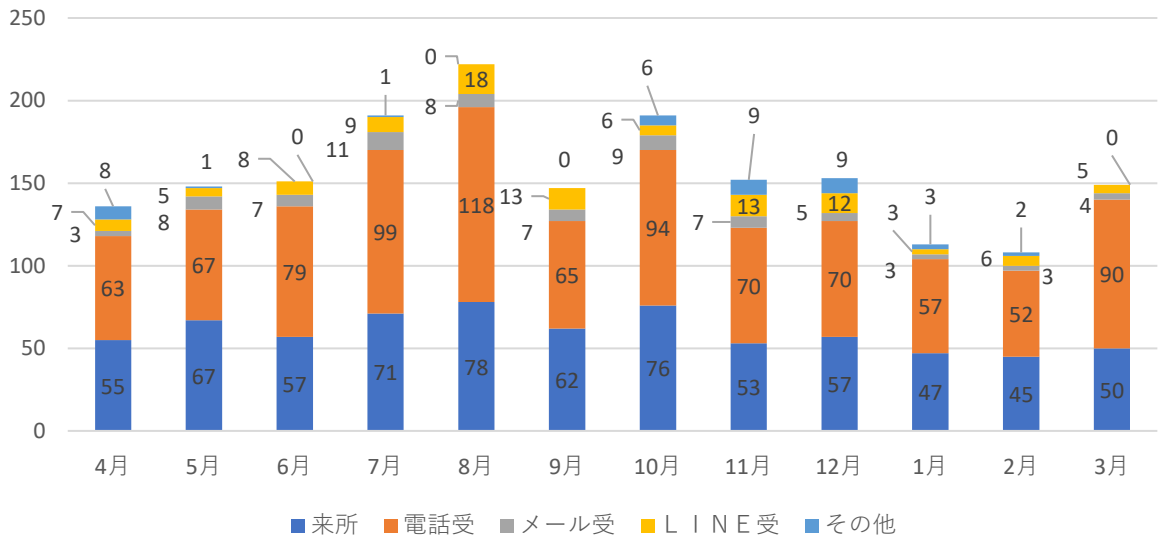
窓口分類



令和6年	本庁舎	巡回	分室	その他	合計
合計	1195	584	62	20	1861

巡回型福祉なんでも相談窓口を6月以降、4圏域で毎月開催したため、前年度に比べ巡回相談の件数が12倍になりました。

相談方法



令和6年	来所	電話	メール	LINE	その他	合計
合計	718	924	75	105	39	1861

相談件数は前年度に比べ1.6倍に増えました。前年度、積極的に地域に出向き、事業周知を行ったことが、件数の増加につながったと考えます。特に来所やLINE相談の件数が増えており、福祉なんでも相談の窓口として気軽に立ち寄ってもらえる場として認識されてきたのだと感じます。また、このほかに496件の訪問も行いました。

相談相手先

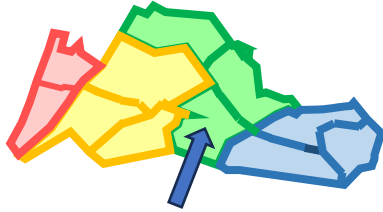
令和6年	当事者	当事者家族	地域住民	NPO団体	行政(福祉)	行政(福祉以外)	福祉施設	支援センター 地域包括	民生児童委員	その他専門機関	渋谷社協	他社協	その他	不明	合計
合計	1366	268	42	5	47	12	1	17	20	32	18	0	30	3	1861

当事者と当事者家族からの相談が多いのは前年度と同じ傾向でした。また、行政からの相談も増えており、関係機関にも福祉なんでも相談窓口が認知されてきたのではないかと感じます。今後も関係機関との連携を深めていきます。一方、当社協からの相談は微増となっており、今後より一層社協内連携に取り組んでいきたいと思っています。

02 地域アセスメントシート

東部

大向地区



おおむかいまるさんかくしかく
大向○△□
～つながりサロン～
毎月第3土曜日
13時半～

名前の由来：○でも△でも□でもいろいろな形で繋がろう！

内容：高齢者の孤食予防についての話、街歩き、ランチ会等のイベント

協議体 ※1



人口	12,810	人	児童数	1,126	人	高齢者世帯	1316	世帯
高齢化率	15.64	%	生産年齢人口	9,680	人	母子世帯	101	世帯
			老年人口	2,004	人	父子世帯	8	世帯
			世帯数	8,627	世帯	シングル世帯	109	世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括							
人口動態	地域包括支援センター：かんなみの杜・しぶや地域包括支援センター							
自然環境	保健相談所：中央保健所							
生活基盤	警察署：宇田川交番、道玄坂上交番、渋谷駅前交番、代々木公園交番							
文化等	消防署：渋谷消防署、松濤出張所							

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
3	1	3	20	1
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	2	6	5	2
				公園
				6
町会	民生児童委員	見守りサポート協力員		
16	9	3		

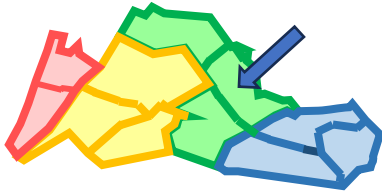
※1 協議体とは？

地域に支え合いの輪を広げていくため、その地域ならではの「支え合いのしくみ」について、無理なく取り組めることは何かを探し、話し合う場です。

協議体では、地域を良くしたいという想いのある方や、その地域に関わるグループや団体等、世代や立場を超えた様々な方が集まって話し合いを進めていきます。令和4年度に、区内11地区で「地域の話し合いの場（協議体）」が立ち上がり、各地区で話し合いが進んでいます。



神宮前地区



おんぼら
 穩原よつば会
 毎月第4月曜日
 10時半～

名前の由来：昔の地名(穩田+原宿)と 華 = 4つの♡ = 4つのあい (であい・ふれあい・かたりあい・たすけあい)
 内容：小学校との交流・街歩き等

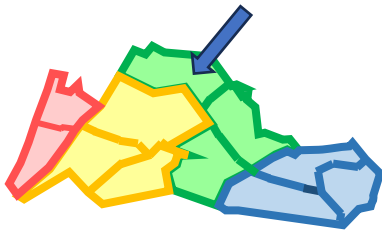
協議体



人口	15,403 人	児童数	1,637 人	高齢者世帯	2,231 世帯
高齢化率	23.11 %	生産年齢人口	10,207 人	母子世帯	156 世帯
		老年人口	3,559 人	父子世帯	17 世帯
		世帯数	9,282 世帯	シングル世帯	173 世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括				
人口動態	地域包括支援センター：ケアコミュニティ・原宿の丘地域包括支援センター				
自然環境	保健相談所：中央保健相談所(※管轄)				
生活基盤	警察署：原宿警察署(※管轄)、美竹交番、神宮前交番、原宿地域安全センター				
文化等	消防署：原宿出張所				

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
6	2	4	8	3
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	2	2	6	3
				公園
				9
町会	民生児童委員	見守りサポート協力員		
16	21	8		

千駄ヶ谷地区



であい・ふれあい・
 かたりあい
 3あい倶楽部
 毎月第4水曜日
 10時半～

名前の由来：であい・ふれあい・かたりあい = 3つのあい = 3あい倶楽部
 内容：地域情報の共有、地域行事一覧の作成・防災食体験等

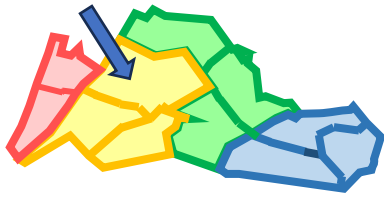
協議体



人口	17,294 人	児童数	1,625 人	高齢者世帯	1,982 世帯
高齢化率	17.14 %	生産年齢人口	12,704 人	母子世帯	130 世帯
		老年人口	2,965 人	父子世帯	16 世帯
		世帯数	11,376 世帯	シングル世帯	146 世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括				
人口動態	地域包括支援センター：千駄ヶ谷・北参道地域包括支援センター				
自然環境	保健相談所：中央保健所(※管轄)				
生活基盤	警察署：原宿警察署(※管轄)、千駄ヶ谷駅前交番、千駄ヶ谷五丁目交番、代々木二丁目交番、代々木駅前交番				
文化等	消防署：原宿出張所				

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
4	4	2	5	1
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
3	5	0	1	1
				公園
				9
町会	民生児童委員	見守りサポート協力員		
10	18	8		

初台地区



毎月第3木曜日
13時半～

名前は無し：「初台地区
地域の話し合いの場」の
ままで良いとのことから。
内容：地域情報の共有・
街歩き等

協議体

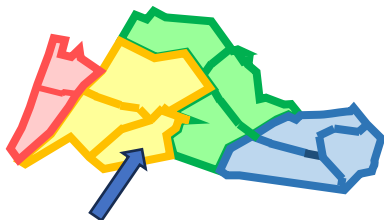


人口	27,576	人	児童数	3,230	人	高齢者世帯	3,095	世帯
高齢化率	16.55	%	生産年齢人口	19,783	人	母子世帯	195	世帯
			老年人口	4,563	人	父子世帯	25	世帯
			世帯数	16,506	世帯	シングル世帯	220	世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括							
人口動態	地域包括支援センター：あやめの苑・代々木地域包括支援センター							
自然環境	保健相談所：中央保健相談所(※管轄)							
生活基盤	警察署：代々木警察署(※管轄)、初台二丁目交番							
文化等	消防署：なし							

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
8	1	6	4	2
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	2	1	2	1
				公園
				12

町会	民生児童委員	見守りサポート協力員
6	21	10

上原地区



うえとみフレア
毎月第2木曜日
17時半～

名前の由来：フレアは
仏語で「仲間・ふれあ
い」の意味。皆で活動
していこう！の意
内容：ナイトウォー
ク・インスタ作り等

協議体

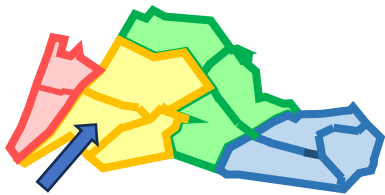


人口	20,269	人	児童数	2,450	人	高齢者世帯	2,146	世帯
高齢化率	16.03	%	生産年齢人口	14,570	人	母子世帯	177	世帯
			老年人口	3,249	人	父子世帯	19	世帯
			世帯数	12,435	世帯	シングル世帯	196	世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括							
人口動態	地域包括支援センター：富ヶ谷・上原地域包括支援センター							
自然環境	保健所：中央保健相談所(※管轄)							
生活基盤	警察署：代々木警察署(※管轄)、上原駅前交番							
文化等	消防署：富ヶ谷出張所							

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
4	1	3	3	0
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	1	1	1	1
				公園
				10

町会	民生児童委員	見守りサポート協力員
6	15	9

西原地区



みんなのせせらぎ
～つながるサロン
毎月第3水曜日
10時～

名前の由来：ケアコミュニティせせらぎが地域のシンボルであることから
内容：地域情報の共有・街歩き等

協議体

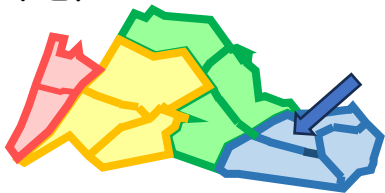


人口	28,289	人	児童数	2,827	人	高齢者世帯	3,560	世帯
高齢化率	19.22	%	生産年齢人口	20,026	人	母子世帯	222	世帯
			老年人口	5,436	人	父子世帯	14	世帯
			世帯数	17,940	世帯	シングル世帯	236	世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括							
人口動態	地域包括支援センター：総合ケアコミュニティ・せせらぎ地域包括支援センター							
自然環境	保健相談所：中央保健相談所・幡ヶ谷保健相談所(※管轄)							
生活基盤	警察署：代々木警察署(※管轄)、幡ヶ谷駅前交番							
文化等	消防署：東京消防庁消防学校、消防技術安全所、代々木出張所							

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
10	4	2	8	6
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	3	2	2	1
				公園
				16
町会	民生児童委員	見守りサポート協力員		
11	24	7		

南部

氷川地区



ふらっとTAGOTO
毎月第3木曜日
11時～

名前の由来：昔の地名「田毎」から。たごとは月があり田にその月が映る様子のこと。
内容：こども園とのコラボや調理イベント等

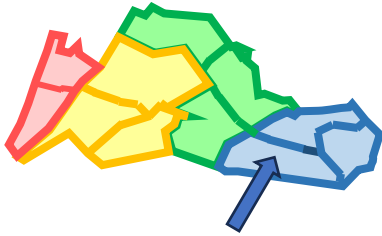
協議体



人口	15,910	人	児童数	1,768	人	高齢者世帯	2,376	世帯
高齢化率	21.77	%	生産年齢人口	10,679	人	母子世帯	23	世帯
			老年人口	3,463	人	父子世帯	151	世帯
			世帯数	10,439	世帯	シングル世帯	174	世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括							
人口動態	地域包括支援センター：ひがし健康プラザ地域包括支援センター							
自然環境	保健相談所：恵比寿保健相談所(※管轄)							
生活基盤	警察署：渋谷警察署(※管轄)、東交番、常盤松交番、日赤病院交番							
文化等	消防署：なし							

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
3	4	7	3	4
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	1	3	4	0
				公園
				10
町会	民生児童委員	見守りサポート協力員		
9	15	7		

恵比寿地区



代恵なお世和会
毎月第1金曜日
10時半～
名前の由来：「余計なお世話」
を、代官山と恵比寿の頭文字＋
話を和へ変更
内容：地域情報の共有、昔遊び
イベント等

協議体

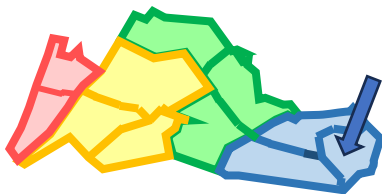


人口	20,257 人	児童数	2,258 人	高齢者世帯	2,485 世帯
高齢化率	19.29 %	生産年齢人口	14,092 人	母子世帯	153 世帯
		老年人口	3,907 人	父子世帯	16 世帯
		世帯数	12,802 世帯	シングル世帯	169 世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括				
人口動態	地域包括支援センター：恵比寿西2丁目地域包括支援センター				
自然環境	保健相談所：恵比寿保健相談所（※管轄）				
生活基盤	警察署：渋谷警察署（※管轄）、代官山交番、恵比寿駅前交番、鉢山交番				
文化等	消防署：なし				

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
3	2	4	4	2
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	3	6	4	1
				公園
				13

町会	民生児童委員	見守りサポート協力員
17	19	10

新橋地区



おとなりさん新橋
毎月第2金曜日
11時～
名前の由来：おとなりさんは
大事だねという話から
内容：防災(減災)の話し合い、
熱中症講座等

協議体

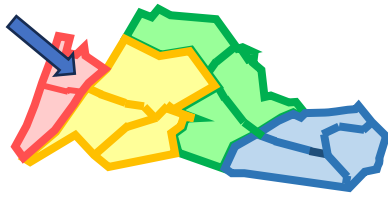


人口	23,183 人	児童数	2,168 人	高齢者世帯	3,153 世帯
高齢化率	19.85 %	生産年齢人口	16,413 人	母子世帯	196 世帯
		老年人口	4,602 人	父子世帯	18 世帯
		世帯数	16,281 世帯	シングル世帯	214 世帯
地域特性	該当の保健所、警察、包括				
人口動態	地域包括支援センター：豊沢新橋地域包括支援センター				
自然環境	保健相談所：恵比寿保健相談所（※管轄）				
生活基盤	警察署：渋谷警察署（※管轄）、広尾5丁目交番・恵比寿4丁目交番				
文化等	消防署：恵比寿出張所				

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
3	3	4	4	3
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	1	2	1	1
				公園
				15

町会	民生児童委員	見守りサポート協力員
10	17	10

本町地区



ワイフほんまち
毎月第4金曜日
14時～
名前の由来：スペースYという貸しスペースにて多世代交流の居場所を実施した経緯から
内容：地域情報の共有、昔遊びカフェ等のイベント実施

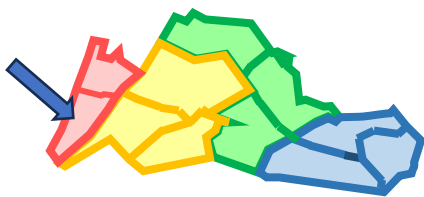
協議体



人口	27,228 人	児童数	2,320 人	高齢者世帯	3,557 世帯
高齢化率	18.04 %	生産年齢人口	19,996 人	母子世帯	179 世帯
		老年人口	4,912 人	父子世帯	23 世帯
		世帯数	18,595 世帯	シングル世帯	202 世帯
地域特性 人口動態 自然環境 生活基盤 文化 等	該当の保健所、警察、包括 地域包括支援センター：つばめの里・本町東地域包括支援センター 保健相談所：幡ヶ谷保健相談所 警察署：代々木警察署 消防署：代々木出張所				

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
6	2	2	6	3
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	2	0	1	1
				公園
				14
町会	民生児童委員	見守りサポート協力員		
9	25	9		

笹塚地区



おしゃべりテラス
毎月第3火曜日
13時半～
名前の由来：会議もミーティングもカフェも違う。おしゃべりがちょうど良い+テラスでやっていることから
内容：地域情報の共有,それぞれの活動報告等

協議体



人口	23,183 人	児童数	1,970 人	高齢者世帯	3,253 世帯
高齢化率	19.61 %	生産年齢人口	16,667 人	母子世帯	183 世帯
		老年人口	4,546 人	父子世帯	22 世帯
		世帯数	15,573 世帯	シングル世帯	205 世帯
地域特性 人口動態 自然環境 生活基盤 文化 等	該当の保健所、警察、包括 地域包括支援センター：笹塚地域包括支援センター 保健相談所：幡ヶ谷保健相談所 警察署：代々木警察署 消防署：代々木出張所				

公共施設(活動拠点)	自主管理施設	教育機関(小・中)	相談機関	公営住居
5	4	4	6	10
医療	駅	大使館	図書館・美術館等	行政窓口
1	2	0	1	1
				公園
				17
町会	民生児童委員	見守りサポート協力員		
9	20	5		

03 住民活動数一覧 －地域とのつながり－

渋谷区社会福祉協議会では、住民の皆様の様々な活動を支援しております。地域福祉コーディネーターは、他部署と連携しながら、新しく活動を立ち上げたい方の支援や、活動を安定して継続していくための支援を行っています。

ふれあい・いきいきサロンの推移

年度	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
食事型	11	11	9	9
ふれあい型	31	28	29	26
合計	42	39	38	35

こどもテーブル助成団体の推移

年度	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
子ども食堂	39	37	40	50
居場所づくり 学習支援	31	33	35	40
合計	70	70	75	90

福祉活動助成団体の推移

年度	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)
助成団体数	34	33	31	32

(渋谷区社会福祉協議会 令和7年度版事業概要より)

SNSアカウント一覧

【Facebook】

【X 旧 : Twitter】

【Instagram】



発行

令和6年度 地域福祉コーディネーター活動報告書
令和7年11月発行

問い合わせ先

渋谷区社会福祉協議会
地域共生推進課 地域総合相談支援係

住所：東京都渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所2階

電話：03-6452-5072

メール：s-soudan-shibuya-shakyo@tokyo.email.ne.jp

HP：https://www.shibuyashakyo.or.jp/index.html